

岡山市の教育理念

市民協働による「自立に向かって成長する子ども」の育成

「自立に向かって成長する子ども」とは、「豊かな人間性」を身に付け、「自分を高める」とともに、「共に生きる」ことができるように自分自身を確立していくことのことです。

「自立に向かって成長する子ども」を育成するため、家庭、学校園、地域社会、事業者、市がそれぞれの果たすべき責任と役割を自覚し、相互の信頼関係の下、支え合い協力していきます。

豊かな
人間性自分を
高める共に
生きる

人権尊重の理念に基づく教育の推進

教育の基盤は、人権尊重が徹底している環境です。その中で、一人一人が大切にされていることを実感できるようにすることで、自分とともに他者を大切にしようとする態度を育むことができます。

こどもたち一人一人が活躍し、また、豊かで安心して暮らすことができる社会を実現していくためには、人権感覚を身に付け、社会の一員として主体的に自分の役割を果たすことができるこどもを育てることが重要です。

岡山市では、一人一人の生命と尊厳が守られ、それぞれの個性、能力を最大限に発揮できる家庭、学校園、地域社会の実現を目指します。

第3期岡山市教育大綱 3つの柱

「第3期教育大綱（令和8年度～令和12年度）」では、重点的に取り組んでいくことを3つの柱として掲げ、その実現に向けて取組を進めていきます。

1

学び続ける
力の育成

考える力の基礎となる
学力の育成と探究的な学び
の充実に取り組みます。

第4期 岡山市教育振興基本計画との関連

政策1

確かな学力の育成
情報活用能力の育成
探究的な学習の充実

2

不登校のこどもなどの
居場所づくりと社会的自立
への支援

不登校のこどもに寄り添い、
多様な学びの場の提供を
行います。

第4期 岡山市教育振興基本計画との関連

政策2

多様な教育ニーズへの対応

3

地域社会とつながる
力の育成

地域のよさなどを知り、
地域社会に何ができるか考え、
行動する機会を設けます。

第4期 岡山市教育振興基本計画との関連

政策1・政策2

探究的な学習の充実
道徳教育の充実
交流活動の充実
体験活動の充実

第4期 岡山市教育振興基本計画
(令和8年度～令和12年度)

みんなで支え、
みんなで育てる。



4つの政策で 「自立に向かって成長する子ども」を 育成します

変化が激しく先を見通すことが難しい時代においても、こども一人一人が自分らしく心豊かに生き、自分の力で未来を切り拓いていけるよう、本計画を策定しました。本パンフレットでは、その概要を分かりやすくお伝えします。

政策1 持続的な社会の発展に向けて 学び続ける人材の育成

将来の予測が困難な時代において
学び続けるこどもを育成します。

確かな学力
の育成

情報活用能力
の育成

探究的な学習
の充実

体力の向上
食育の推進

安全教育
の充実

政策2 誰一人取り残されない 共生社会の実現に向けた 教育の推進

自分のよさや可能性を発揮し、多様な
人々と協働できるこどもを育成します。

道徳教育
の充実

体験活動
の充実

交流活動
の充実

多様な教育
ニーズへの対応

自立に向かって成長する子ども

豊かな人間性

自分を高める

共に生きる

縦のつながり
中学校区を単位とした
学校園一貫教育

市

事業者

学校園

家庭

地域
社会

横のつながり
コミュニティ・スクール岡山

人権尊重の理念に基づく教育の推進

第4期 岡山市教育振興基本計画

政策3

地域や家庭で共に学び 支えあう社会の実現に向けた 教育の推進

こどもが安心して活動できる居場所
づくりや、地域全体でこどもを育む
取組を支援します。

学校園・家庭・
地域の連携強化

家庭教育への
支援

社会教育施設の
機能強化

政策4

計画の実効性を高める 基盤整備及び 教育DX^{*1}の推進

こどもが安心して学ぶことができる
学校園の環境整備を進めます。

学校園の
指導体制の充実

教育DXによる
業務改革・改善

働き方改革
の推進

教育環境
の整備

広報広聴活動
の充実

*1 教育分野の「Digital Transformation」の略で、教育分野のデジタルによる変革を表す言葉。デジタル技術を活用することで、教育や学校園をよりよいものに変革すること。



第4期岡山市教育振興基本計画(本編)は、
二次元コードからご覧いただけます。